



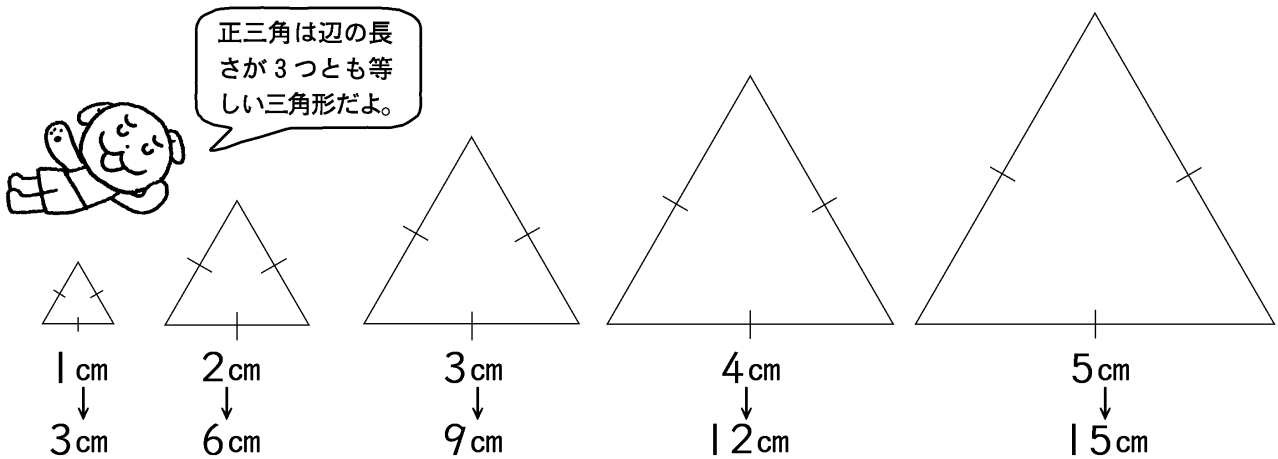
小 / 算数 / 4年 / 数量関係 /
変わり方調べ / 理解シート

正三角形の1辺の長さ^{ぺん}とまわりの長さ^{かんけい}の関係は、どうなるの



正三角形の1辺の長さ^{ぺん}と、そのときのまわりの長さ^{かんけい}との関係を見つけよう。

① 下の図から、1辺の長さ^{ぺん}とまわりの長さ^{かんけい}の表をつくりましょう。



1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	いつも3倍になっている。
まわりの長さ(cm)	3	6	9	12	15	

ポイント ▶ まわりの長さは、いつも1辺の長さの3倍になっています。

② 1辺の長さを□cm, まわりの長さを○cmとして、□と○の関係を式に表します。

$$(1\text{辺の長さ}) \times 3 = (\text{まわりの長さ})$$

$$\boxed{\text{大切!}} \quad \square \times 3 = \bigcirc$$

□が7のとき、○は、 $7 \times 3 = 21$

○が30のとき、□は、 $\square \times 3 = 30, \square = 30 \div 3 = 10$

おぼえて
おこう

1辺の長さが1cmずつふえると、
まわりの長さは、3cmずつふえます。

○を□でわった商は一定(3)なんだよ。

